令和６年９月４日

意　見　書

盛岡市長　内　舘　　茂　様

盛岡市玉山地域振興会議
会　長　福　田　　稔

玉山地域の振興に関して、盛岡市玉山地域振興会議条例第２条第２項の規定により、別紙のとおり意見を提出します。

件　　名	玉山地域の今後のまちづくりについて
意見内容	令和７年３月 31 日で計画期間が終了する新市建設計画の確実な実施など、今後のまちづくりに関する事項について、別紙のとおり提出しますので、市当局におきまして、意見が尊重されるよう検討のうえ回答をお願いします。

Ⅰ　はじめに

1　平成18年１月10日の盛岡市と玉山村の合併に伴い、地域自治区「玉山区」が設置されるとともに、玉山区の住民の意見を市政に反映させるため、盛岡市玉山区地域協議会が平成28年３月31日までの10年間の期間により設置されたところです。

2　平成28年３月31日で地域自治区が廃止されることに伴い、盛岡市玉山地域振興会議条例に基づく玉山地域振興会議（以下、「振興会議」という。）が設置され、「盛岡市・玉山村新市建設計画の変更及び執行状況に関する事項」、「基本構想及び地域計画の策定及び変更に関する事項」、「公の施設の設置、管理運営及び廃止に関する事項」のほか、市長等が必要があると認めた事項等について審議を行い、市長等に意見を述べてきたところです。

3　振興会議は令和７年３月31日をもって廃止となることから、玉山地域の今後のまちづくりに関して、市長に対して意見書を提出することとしました。また、意見書の取りまとめに当たり実施した「玉山地域住民アンケート調査」の結果を併せて提出するものです。

Ⅱ　玉山地域住民アンケート調査について

1　調査の目的

この調査は、令和７年３月31日に盛岡市・玉山村新市建設計画の計画期間が終了するとともに、振興会議の設置期限を迎えることから、７年度以降の玉山地域のまちづくりや、行政サービスの提供のあり方を検討するための基礎的資料とするため実施したものです。

2　調査設計

(1)　実施方法　　アンケート方式による調査
(2)　調査地域　　玉山地域
(3)　調査対象者　満18歳以上の市民
(4)　標本数　　931人
(5)　抽出方法　　住民票ファイル（令和６年１月31日）から年齢層ごとに無作為抽出
(6)　調査方法　　郵送による配布・回収（インターネット回答を併用）
(7)　調査期間　　令和6年3月25日～令和６年４月30日

3　調査の回収結果

（1）　対象者　　931人

（2）　有効回収数　381人（調査票332人、インターネット59人）

（3）　有効回収率　40.9%

【年代別回収率と回答媒体の内訳】

年代	配布数	回収数	回収率	回答媒体の割合	
				調査票	インターネット
19歳以下	15	4	26.7%	13.3%	13.3%
20～29歳	69	17	24.6%	13.0%	11.6%
30～39歳	85	29	34.1%	22.4%	11.8%
40～49歳	132	51	38.6%	28.0%	10.6%
50～59歳	132	47	35.6%	23.5%	12.1%
60～69歳	177	93	52.5%	51.4%	1.1%
70歳以上	321	133	41.4%	39.3%	2.2%
無回答	－	7	－	－	－
計	931	381	40.9%	34.6%	6.3%

4　結果の考察

（1）　玉山地域における行政サービスの総合的な評価は、「満足」「やや満足」と回答した人が46.7%で、平成25年の前回調査と比べ33.7ポイント増加しました。「不満」「やや不満」と回答した人は13.7%で、前回と比べ8.9ポイント減少しました。

また、市役所に用事がある場合に利用する施設については、玉山総合事務所をあげた人が最も多く（89.1%）、巻堀・玉山・薮川出張所（24.3%）、本庁舎（7.9%）の順となっています。

新市建設計画等による各種事業の実施や、玉山総合事務所等による行政サービスについて、一定の評価が得られたものと考えられます。

（2）　現在の日常生活において、困っていることや心配なこと

「バスや鉄道などの交通の便が悪い」（42.8%）をあげた人が最も多く、「管理されていない空き地・空き家があり心配」（31.2%）、「農畜産業の担い手が不足している」（28.3%）のほか、「近場に就職先がない」（27.8%）、「鳥獣被害が発生している」（26.2%）があげられています。

（3）　現在の地域活動における問題点

「住民の高齢化」をあげた人が最も多く（76.2%）、「地域の人口減少」（42.3%）、「自治会役員のなり手・担い手不足」（29.7%）のほか、「住民同士のつながりの希薄化」（27.6%）、「地域活動への参加者の減少」（22.6%）があげられ

ています。

(4)　玉山地域が将来どのような地域になってほしいか

「医療・福祉施設の充実した福祉地域」をあげた人が最も多く（41.7%）、「住環境の整備された住宅地域」（36.2%）、「地域防災・地域安全の充実した安全・安心な地域」（28.9%）のほか、「啄木や豊かな自然環境を活かした観光地域」（28.6%）、「緑豊かな農林畜産業地域」（23.6%）があげられています。

(5)　行政に頼るだけでなく地域でできることにどのようなものがあるか

「環境美化活動、ごみ減量」をあげた人が最も多く（47.8%）、「高齢者などへの手助け」（43.6%）、「子どもなどの見守り」（34.6%）のほか、「交通安全、防犯、防災活動」（31.0%）、「除雪への協力」（24.1%）があげられています。

(6)　振興会議の設置が終了した後に、必要なことはあるか

「振興会議の代わりの組織を設置する」をあげた人が最も多く（47.2%）、「どちらともいえない」（33.3%）、無回答（12.3%）、「代わりの組織は必要ない」（7.1%）の順となっています。

(7)　玉山地域の振興に必要だと思う市の施策（自由記述）

傾向として、「雇用の創出、企業や商業施設の誘致」に関する内容が最も多く、そのほか、下田駅の整備を含む「施設やインフラの整備」、「子育て・教育環境の改善」に関する内容が多く見られました。

(8)　玉山総合事務所の窓口に期待すること（自由記述）

傾向として、「現状を維持してほしい・サービスや対応に満足している」といった内容が最も多く、そのほか、土日に窓口を開けてほしいなどの「窓口の充実・改善」、「職員の対応改善」に関する内容が多く見られました。

(9)　玉山地域の振興についての意見・要望（自由記述）

傾向として、盛南地区ように発展させてほしいといった「玉山地域の発展、賑わいの創出」に関する意見・要望が最も多く、そのほか「施設やインフラの整備・維持管理」、「企業や商業施設の誘致」に関する意見要望が多く見られました。

Ⅲ　今後のまちづくりについて

Ⅱの玉山地域住民アンケート調査の結果及び、私たち振興会議委員が地域活動等を通じて把握している、地域や団体の意見、要望を踏まえつつ、議論を尽くしたうえで、次のとおり市長に求めます。なお、平成27年２月には玉山区地域協議会から市長に玉山地域まちづくり提言書を提出し、対応をいただいたところですが、同様に意見を尊重されることを求めます。

1　新市建設計画事業の確実な実施について

盛岡市と玉山村の合併に当たり策定された新市建設計画について、玉山地域住民からは、新しい地域づくりには欠かせないものとして、合併時の計画を確実に実行して欲しいとの声が多くあります。

このことから、着手中の事業については完了時期を、未着手の事業については、着手時期及び完了時期を具体的にお示しいただくとともに、令和７年度以降の市総合計画実施計画に位置付け早期に完了するよう求めます。

2　玉山地域の振興について

当振興会議が実施した住民アンケートの結果や、振興会議がこれまで審議し市長等に述べた意見を踏まえるとともに、将来の玉山地域の振興を図るために、次の点についての配慮を行った施策推進について求めます。

(1)　地域公共交通の充実及び利便性の向上を図るとともに、公共交通のない地域における日常生活に必要な移動手段の確保や、既存の公共交通へのアクセス性向上を図るため、オンデマンドタクシー、自動運転によるコミュニティバスや、ライドシェアなどの新しい技術及び制度の導入促進を図ること。
(2)　玉山地域における街路灯整備の促進に努めること。
(3)　玉山地域内における上下水道普及の促進に努めること。
(4)　コミュニティ施設の整備や、既存のコミュニティ施設の改築などを推進すること。
(5)　玉山地域内で浸透しており健康づくりの基礎となっている集団健診を維持すること。
(6)　少子化が進行する中で、適切な教育が受けられる教育環境の整備を図ること。
(7)　小児科などの医療機関、公園等への遊具を設置、子ども食堂の開設などにより、玉山地域の子育て環境の改善を図ること。
(8)　地域特性に配慮した高齢者対策（保健福祉対策、交通対策、買物弱者対策）の充実を図ること。

(9) 農業後継者対策などを含めた若者の定住対策を図ること。
(10) 増加する空き家について、適切な管理や有効活用が図られるよう対策を講じること。
(11) 自治会役員のなり手・担い手不足を解消するとともに、自治会活動が持続できるよう、自治会に対する負担軽減や活動支援を行うこと。
(12) 企業・商業施設等の誘致により、雇用の創出、働く場の確保を図ること。
(13) 玉山地域の豊富な自然や郷土の歌人・石川啄木を活用した観光振興を行うこと。
(14) 道路や橋梁等の整備促進を図ること。
(15) 迅速な除排雪を実施すること。

3　振興会議の後継組織について

住民アンケートにおいて、振興会議の代わりの組織設置を望む声が47.2%を占めており、引き続き玉山地域住民の声を市政に反映させることが強く求められている状況です。このことから、新市建設計画の確実な実行や、同計画が目指す将来像実現のためのまちづくり方策等への玉山地域の住民意見反映のために、新市建設計画及び玉山地域のまちづくり全般に関して市長に意見を述べ、市政へ地域住民意見を反映させることを役割とする振興会議の代わりの組織の設置を求めます。

なお、新たに設置する組織は、玉山地域の意見を広く把握するとともに、適時適切に市政へ反映させるため、現在の振興会議と同様の人員体制や開催頻度とすることを併せて求めます。

4　玉山総合事務所の組織体制について

市村合併により急激に生活環境が変化しないよう、玉山総合事務所及び各出張所が設置され、玉山地域の住民にとって身近な行政サービスの窓口・相談窓口としての役割を果たしてきました。

住民からの要望として、「従来どおり玉山の事務所で手続きを行うことができるようにしてほしい」との声が寄せられており、快適で安心できる住民生活を維持するためには、その機能を損なうことがないよう継続される必要があります。

更に、玉山地域の災害に対応できる体制や将来の職員減少にも対応できる簡素で効率的な体制の視点も考慮しつつも、今後の玉山地域の振興や地域住民の満足度向上のためには、地域振興につながる部署の配置やきめ細やかで顔の見えるサービス提供など、その機能の一層の充実が必要です。また、地域の賑わいや商店街振興には昼間人口の維持拡大が不可欠です。

このことから、玉山総合事務所の組織体制等について、次のとおり求めます。

(1) 現在の行政サービス水準の維持、拡充のため、税務住民課及び健康福祉課については、積極的に是認するものではありませんが、簡素で効率的な組織体制を構築する視点から支障のない範囲で統合しつつも、現行の機能は確実に維持すること。総務課、産業振興課及び建設課は、現行通りの体制とすること。また、玉山地域で行ってきたイベントなどを継続できる体制であること。
(2) 玉山総合事務所を部相当に位置づけ、部長級の職員を配置すること。
(3) 住民の身近な相談窓口として、また、顔の見えるサービス提供拠点としての役割を維持すること。
(4) 災害発生時に迅速に対応できるよう、職員数の確保など災害対応の体制拡充を図ること。
(5) 玉山地域の主要産業である農林畜産業の振興や、その他、玉山地域の振興のため農林部等の玉山分庁舎への移転や庁舎未使用執務室の活用などを図ること。
(6) 必要な保健医療・福祉サービスが円滑に利用できるよう、相談等に係る窓口体制及び取り扱い業務の充実を図ること。
(7) 建設・都市計画関係、教育委員会など他の庁舎にある部署への取次機能の充実を図ること。
(8) 玉山総合事務所で受け付けることができない行政サービス利用に際して、DX（デジタルトランスフォーメーション）の活用などにより、玉山総合事務所で行政サービスが利用できるシステム構築をすること。

5　旧盛岡市域と玉山地域の一体感の醸成

住民アンケートにおける行政サービスの総合的な評価について、「満足」、「やや満足」の割合が前回調査より増加しており、一体感の醸成が一定程度進んでいるものと考えておりますが、旧盛岡市域の開発や施策推進のみならず、玉山地域の歴史、文化及び伝統を保全しながら、市全体で一体的な振興等を行うよう求めます。

また、市村の合併後、旧市域と同様に玉山地域においても、４地区で福祉推進会を設立しましたが、玉山地域特有の状況もあり、事務局の確保にたいへん苦慮しています。旧市域においては児童センターや老人センターが事務局を担っているところがありますので、旧市域と同様に地区ごとに人的な機能を整備し、事務局体制が確保されるよう支援を行うことを求めます。併せて、地域づくり組織についても同様に、事務局の確保に苦慮していることから、事務局体制が確保されるよう求めます。

6　新総合計画の実施計画について

市村合併後、玉山地域では、「工業団地造成などによる雇用の場の創出」、「有害鳥獣対策としての処理施設整備など」、「新市建設計画にはない道路網整備、河川改良などの実施」、そして「高齢者福祉施設のさらなる整備」など新たな課題が生じてきたことから、確実な解決に取り組むよう求めます。

なお、具体的な要望内容については、玉山地域自治会連絡協議会において取りまとめ市長に要望として提出することとしておりますので、要望内容の事業実施に向け、総合計画実施計画に位置付けるなど着実な推進を図ることを求めます。